

# 第 48 回国頭地区中学校新人野球大会要項

1. 主催 国頭地区中学校体育連盟
2. 共催 沖縄県教育委員会 国頭地区市町村教育委員会 国頭地区PTA連合会
3. 期 日 令和 3 年 12 月 4 日 (土) 開会式 8:30 1 回戦: 9:00  
令和 3 年 12 月 5 日 (日) 準々決勝・準決勝: 9:00  
令和 3 年 12 月 11 日 (土) 決勝 10:00・閉会式 12 (日) 予備日 (かいぎんスタジアム国頭)
4. 会 場 4 日 (土)・・・金武町 BBS (4) かいぎんスタジアム国頭 (3)  
5 日 (日)・・・金武町 BBS (3) かいぎんスタジアム国頭 (3)  
11 日 (土)・・・金武町 BBS (1)
5. 参加資格 (1) 地区中体連加盟校で会費納入済みの学校。  
(2) 同一校で編成されたチームで学校長が参加を認めたチーム。合同チームの参加については、中体連会長から編成が適正であると認められた場合にかぎる。  
(3) 参加校の引率、監督は当該校の教職員・部活動指導員とする。但し、教職員以外のコーチ (1 名) については学校長の認めた登録されたコーチでなければならない。  
(4) 選手は定められた学校名入りのユニフォームを着用すること。(合同チームはその限りではない)  
(5) 硬式ボールを使用球としている団体に所属しているチームとその構成員の出場は認めない。  
(6) 1 チームは選手 20 名、監督 1 名、コーチ 2 名 (外部コーチ 1 名)、記録員 1 名の計 24 名以内とする。  
(7) 次にあげる生徒は、大会に参加できない。  
① 髪型については、各学校の規則に準ずる。 ② 額やまゆにソリを入れている生徒  
③ パーマをあてている生徒 ④ 髪を染色・脱色している生徒  
⑤ 服装や行動面などで、中学生らしくない生徒
6. 競技規則 2021 年度公認野球規則及び全日本軟式野球連盟特別競技規則並びに本大会規定に準ずる。  
【競技に関する連盟特別規則 一七、少年部・学童部に関する事項】の適用
7. 大会規定 (1) 競技形式  
① 試合方法はトーナメント方式とする。  
② 試合は 7 回戦とする。但し、3 回以降 10 点差、5 回以降 7 点差以上の場合はコールドゲームとする。(決勝戦においても同様とする)  
③ 7 回を終了して同点の場合は、8 回から無死一・二塁の継続打順性でタイブレークを行い、勝敗を決定する。勝敗が決するまでタイブレークは行う。  
④ 同日に 1 チーム 3 試合は行わない。  
⑤ 日没、降雨についてのコールドゲームは 5 回以降とする。それ以前の場合は継続試合 (サスペンデッドゲーム) を適用する。  
(2) 試合時間  
① 試合は 1 時間 30 分と計算し、1 時間前までには球場に到着していること。  
(3) オーダー交換  
① オーダー用紙は大会本部の用紙を使用する。(記入・確認後速やかに提出)  
② 攻守の決定は前の試合の 4 回終了時 (第 1 試合は試合開始 30 分前) に監督立ち会いの上、主将が行う。但し、連続試合で先発投手が主将の場合は、登録メンバーから代理を認める。  
(4) 用具  
① マスコットバット、バットリング、鉄棒、公認球以外のボール等、試合で使用しないものの球場内への、持ち込みを禁止する  
② 手袋・リストガードは、原則として「白」か「黒」色の高校野球対応のものを使用する。  
③ ストッキングの形をしっかりと統一する。  
④ 全日本軟式野球連盟公認マーク(J.S.B.B.)が完全に消えた用具は使用できない。  
⑤ 捕手は全日本軟式野球連盟公認マーク(J.S.B.B.)と SG マーク入りの捕手用ヘルメット(SG)、マスク、スロートガード、レガース、プロテクター、ファウルカップを使用すること。(投球練習時の控え捕手も同様) また、打者、走者、次打者、ベースコーチ、バットボーイは全日本軟式野球連盟公認マーク(J.S.B.B.)と SG マーク入った両側のイヤーフラップ (SG、内側にスポンジ等) のついたヘルメットを使用すること。

(5) タイムアウト

① 監督が投手の所へ行く回数の制限

監督が、1試合に投手の所へ行ける回数は7イニングで3回以内とする。尚、特別延長戦においては、1イニングに1回行くことができる。

監督が同一イニングに同一投手の所へ2度目に行くか、行ったとみなされた場合は、投手は自動的に交代しなければならない。尚、その交代した投手が他の守備についたときは、同一イニングには再び投手には戻れない。

② 守備側と攻撃側のタイムの回数制限

捕手または内野手が、1試合に投手の所へ行ける回数は7イニングで3回以内とする。尚、特別延長戦となった場合は、1イニングに1回行くことができる。また、攻撃側についても同様とする。

野手(捕手も含む)が投手の所へ行った場合、そこへ監督が行けば、双方1度として数える。逆の場合も同様とする。

③ 投手の球数制限【全日本軟式野球連盟特別規則】

投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、下記の通りとする。

○大会1日の投球数・・・100球

○1週間の投球数・・・350球

※試合中に100球に到達した場合は、その打者が打撃を完了するまで投球できる。

(6) ダッグアウト

① 抽選番号の若いチームを一塁側とする。但し、同一チームが連続して試合を行う場合は移動しない。

② ダッグアウト外からの選手への指示、アドバイスは禁止する。

③ ダッグアウト内でのメガホン使用は監督、コーチのみとする。(ベンチ内1個とする。)

(7) その他

① チームの選手(監督・コーチ含む)は同色、同形のユニフォームを着用する。尚、スパイクも同色とする。(監督・コーチのシューズも同様)なお、令和3年度までは高校野球に対応した白色の単色スパイク(ベロ部の商標はその限りではない)との混在を認める。

コーチ(教職員)の服装は平服でもよい。また、記録員はユニフォームか制服とする。

② 背番号は1～20番を使用し、原則としてポジション順とする。

③ 球場内でのグランドコートの着用はチームの統一されたものを着用すること。(指定ジャージ可)

④ アピールは当事者が監督に限る。

⑤ 試合中に起きた事故については応急処置のみとし、その後は各学校で責任を持って処置する。

8. 試合球 全日本軟式野球公認M号(内外)を使用する。

9. 表彰 (1) 優勝チームには優勝旗・賞状、準優勝チームには賞状を授与する。

(2) 3位のチームには賞状を授与する。(団体表彰のみ)

(3) 個人賞は殊勲・敢闘・打撃1位、2位に賞状を授与する。

10. 申し込み 令和3年11月10日(水)午後3:00 締切 本部中学校 高良重雄 宛

11. 監督会 令和3年11月17日(水)午後4:00 名護中学校

12. 参加料 登録選手一人あたり500円を監督会時に納入する

13. その他 (1) 北部地区中学校新人野球大会(ロータリー大会)のベスト4をシードする。

(2) 第12回KBC学園杯争奪 第25回沖縄県中学校新人軟式野球大会へ上位2校を推薦する。

【12月25日(土)～27日(月) 他】

(3) 雨天の場合は、専門部で連絡を取り、各監督へ確認する(午前7:30)

(4) 試合後のグランド整備及び次の試合の補助員は、割り当てられたチームや敗者のチームで責任を持って行う。(次の役員が来るまで責任を持って行っておくこと。)

(5) 球場内外の清掃は各チームで時間をかけて行う。

(6) ゴミの処理は各学校で責任を持って行う。(ゴミは確実に持ち帰る)

※会場のゴミ箱は使用しないこと。